の「維持・発展」を支える

建設業で働く女性懇談会

少子高齢化で労働人口が不足する時代がやってくる。建設産業界も例外ではなく、今後若い人材の不足が懸念されている。業界がこれからも維持・発展し続けるためには、新たな人材戦略を考えていくことが必要不可欠となる。その一つとして、女性の雇用拡大が挙げられる。建設産業界は長く男性の職場とのイメージが強く、女性の力が十分に活用されてこなかった。しかし、数は少ないかもしれないが、建設産業に魅力を感じ、力を発揮する女性たちはいる。そこで、実際に建設産業界で活躍する建築・土木技術者の女性たちに、建設産業の魅力や課題を話し合ってもらおうと、国土交通省中部地方整備局、愛知県建設業協会、建設産業専門団体中部地区連合会、建通新聞社が共同で「建設業女性就業者懇談会」を開催した。建設産業界で働く女性はまだまだ少なく、またせっかく就業してもなかなか定着しない現状にあるが、女性が働くにはどんな課題があるのか、どうすれば働き続けることができるのか意見を交換していただいた。出席者からは、育児との両立の厳しさなどの不安が聞かれたが、一方で建設産業に強い誇りとやりがいを感じているという声も聞かれた。強い意欲や高い志を持って働く女性たちの言葉から、建設産業をより魅力的な産業にしていくためのヒントが見えてくる。

横井業務店　渡邊　裕子さん

小原建設　柴田　沙耶華さん

ＪＲ東海コンサルタンツ　平永　佐知子さん

生かせる「生活者の視点」　平永

司会　皆さんがどのような仕事をされているのかを伺いたいと思います。

渡邊　左官の会社で、現場に出て働いています。今は愛知医科大学病院内の新築現場にいます。免震構造の建物で、免震の柱を立てるための基礎のプレート、鉄板にグラウトを流し込んでいく仕事や、打ちっ放しの壁の補修などをやっています。

伊藤　港区の藤前干潟で堤防の補修をしています。自分の役割としては代理人さんの下に付いて現場を見て、指示するということをやっています。

平田　東区筒井町で区画整理の余剰地に公園を造る仕事をしています。3月31日が工期なので、今一番の佳境に入っています。現場はダンプの運転手の女性を見たことはありますが、外で働く女性を見かけたことはないですね。

平永　もともとJR東海の人社で、現在はJR東海コンサルタンツという子会社に出向し、主に鉄道構造物の計画、設計に携わっています。現地調査もあります。公的な仕事としては、土木学会のダイバーシティ委員会の委員もやっています。女性はさっぱりした人が多かったので、むしろ女性ばかりの職場は思いつきませんでした。ただ年配男性には、女はお茶をくんでいればいいというタイプの人もいましたが、仕事をするうちに認めていただけました。

司会　抱いていたイメージと現実が違うない、あるいは抱いていたイメージより現実の方が良いという感想を持たれていることに携わりたいと思い、調べていくうちに土木がそういう分野に関わっていると分かり目指しました。

伊藤　小さい時から大きなものに興味があり、大きいものをつくりたいと思い、土木の道を選びました。土木だったら自分が死ぬまで確実に残せる仕事だと思ったからです。

柴田　今はマンションの大規模修繕工事の現場を担当しています。終わりに近づいているので、検査の立ち会いや住民への完了アンケートなどを行っています。今現場には30人くらいいますが、女性の職人は2人くらい見かけたことがありますが、珍しく多い方です。

司会　なぜ皆さんが建設業を選ばれたかを聞かせてください。

平永　高校時代に人々の生活を日々支えていることに携わりたいと思い、調べていくうちに土木がそういう分野に関わっていると分かり目指しました。

伊藤　小さいころ、ものづくりが好きで、クロスや吹き付けで仕上がっていくのが印象に残っていて、最後まで見える仕事がしたいと思ったからです。

渡邊　左官屋の仕事は、クロスや吹き付けと違ってしまうものが多いので、最後まで見える仕事が印象に残ります。そういう意味で、塗ったものがそのまま見えるしっくいや瓦を積んで壁をつくっていく信長塀が印象に残っています。

育児に会社も協力　平田
達成感がやりがい　伊藤

伊藤　私は橋を造ったことがないんですね。

司会　良い面を聞いてみたいという夢を持っていたのですが、途中参加でしたが昨年初めて携わらせてもらいました。まだ完成していませんが、自分が一生懸命測量したものが形になって残り、それが人の役に立つというのがすごくうれしいですね。

平永　最初に配属された新幹線の保守管理部門での仕事です。当たり前のように毎日動いている新幹線ですが、それを動かすためのエネルギーと、日々の運行に携わっている人の絶対事故を起こさないという高いモチベーションに感動しました。

平田　入る前に入ったことはあまりありませんでした。入ってみて、思っていたよりも優しかったです。

柴田　特に不安はありませんでした。入ってみて、女性はさっぱりした人が多かったので、むしろ女性ばかりの職場は思いつきませんでした。ただ年配男性には、女はお茶をくんでいればいいというタイプの人もいましたが、仕事をするうちに認めていただけました。

司会　抱いていたイメージと現実が違うない、あるいは抱いていたイメージより現実の方が良いという感想を持たれていることに携わりたいと思い、調べていくうちに土木がそういう分野に関わっていると分かり目指しました。

伊藤　小さいころ、ものづくりが好きで、クロスや吹き付けで仕上がっていくのが印象に残っていて、最後まで見える仕事がしたいと思ったからです。

渡邊　左官屋の仕事は、クロスや吹き付けと違ってしまうものが多いので、最後まで見える仕事が印象に残ります。そういう意味で、塗ったものがそのまま見えるしっくいや瓦を積んで壁をつくっていく信長塀が印象に残っています。

難しい職人との意志疎通　柴田
成長を実感できる楽しみ　渡邊

柴田　1年ぐらい前にいた高齢者向け賃貸住宅の現場です。これまでは一番大きく、初めての鉄筋コンクリート造だった。ただ年配男性には、女はお茶をくんでいればいいというタイプの人もいました。

司会　抱いていたイメージと現実が違うない、あるいは抱いていたイメージより現実の方が良いという感想を持たれていることに携わりたいと思い、調べていくうちに土木がそういう分野に関わっていると分かり目指しました。

伊藤　小さいころ、ものづくりが好きで、クロスや吹き付けで仕上がっていくのが印象に残っていて、最後まで見える仕事がしたいと思ったからです。

渡邊　左官屋の仕事は、クロスや吹き付けと違ってしまうものが多いので、最後まで見える仕事が印象に残ります。そういう意味で、塗ったものがそのまま見えるしっくいや瓦を積んで壁をつくっていく信長塀が印象に残っています。

男女とも魅力感じる建設産業界に

司会　良い面を聞いてみたいという夢を持っていたのですが、途中参加でしたが昨年初めて携わらせてもらいました。まだ完成していませんが、自分が一生懸命測量したものが形になって残り、それが人の役に立つというのがすごくうれしいですね。

平永　最初に配属された新幹線の保守管理部門での仕事です。当たり前のように毎日動いている新幹線ですが、それを動かすためのエネルギーと、日々の運行に携わっている人の絶対事故を起こさないという高いモチベーションに感動しました。

平田　入る前に入ったことはあまりありませんでした。入ってみて、思っていたよりも優しかったです。

柴田　特に不安はありませんでした。入ってみて、女性はさっぱりした人が多かったので、むしろ女性ばかりの職場は思いつきませんでした。ただ年配男性には、女はお茶をくんでいればいいというタイプの人もいましたが、仕事をするうちに認めていただけました。

司会　抱いていたイメージと現実が違うない、あるいは抱いていたイメージより現実の方が良いという感想を持たれていることに携わりたいと思い、調べていくうちに土木がそういう分野に関わっていると分かり目指しました。

伊藤　小さいころ、ものづくりが好きで、クロスや吹き付けで仕上がっていくのが印象に残っていて、最後まで見える仕事がしたいと思ったからです。

渡邊　左官屋の仕事は、クロスや吹き付けと違ってしまうものが多いので、最後まで見える仕事が印象に残ります。そういう意味で、塗ったものがそのまま見えるしっくいや瓦を積んで壁をつくっていく信長塀が印象に残っています。